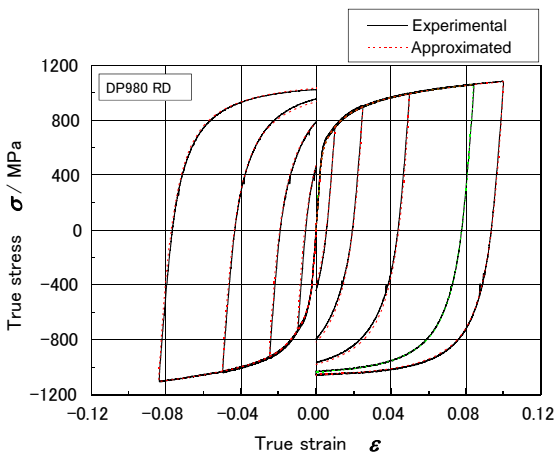
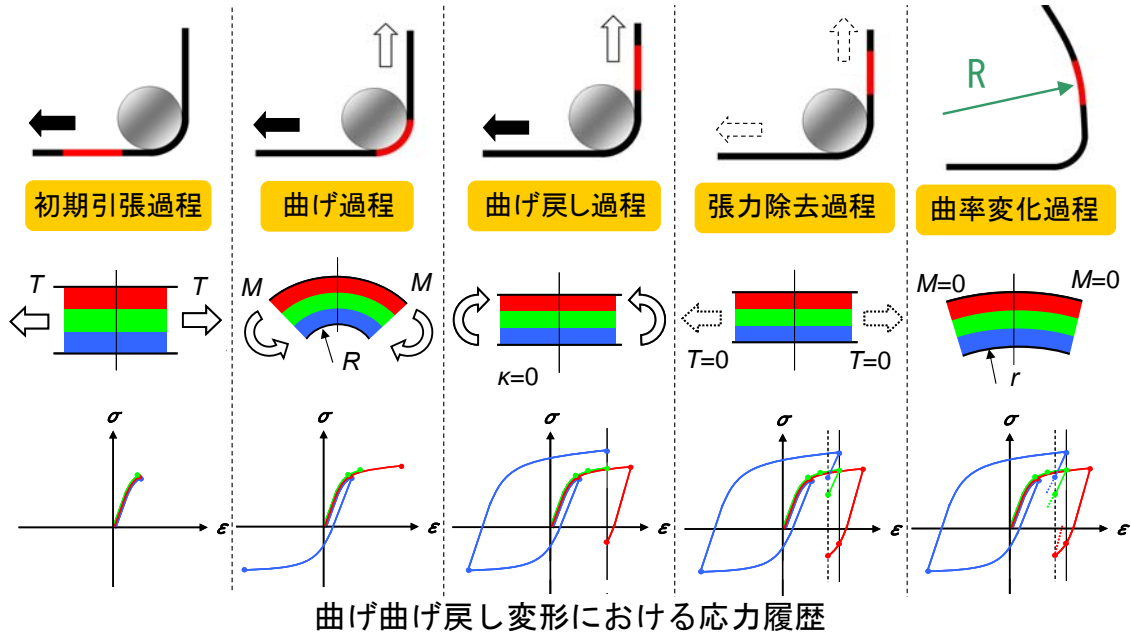


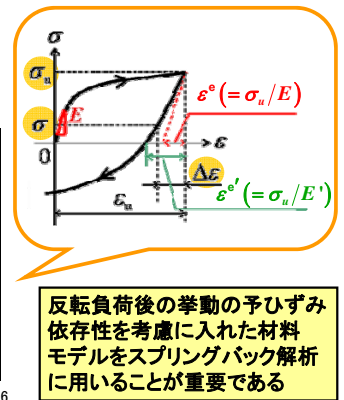
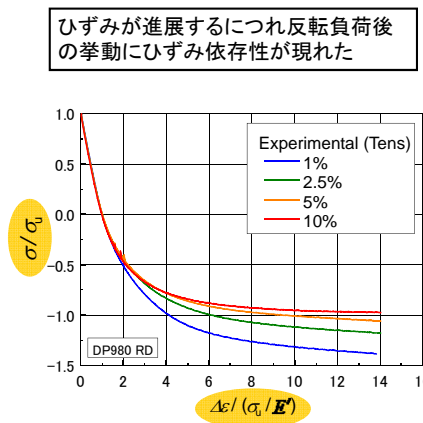
# 全ひずみ理論による曲げ曲げ戻しスプリングバック解析

齊藤 怜奈      桑原 利彦

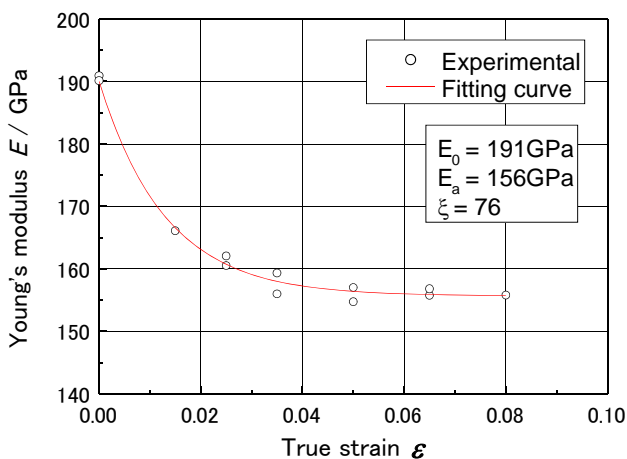
DP980MPa 鋼板の反転負荷試験を行い、バウシング曲線や除荷時の非線形性を定式化した。それらを材料モデルとして、曲げ曲げ戻し変形の全ひずみ理論解析を行った。スプリングバックの解析精度を向上させるためには、特に、除荷時の非線形性の考慮が重要であることがわかった。



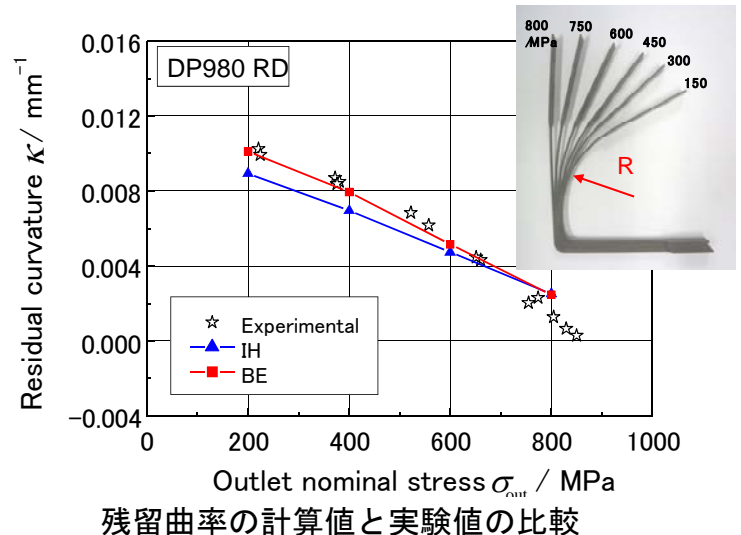
反転負荷時の SS 曲線



反転負荷時の無次元化 SS 曲線



ヤング率の予ひずみ依存性



残留曲率の計算値と実験値の比較